

Title	本研究会の活動（2021年10月～2022年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2022, 71, p. 52-52
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/87554
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

本研究会の活動（2021年10月～2022年3月）

第316回 10月30日（土）

『種玉編次抄』の注釈態度―呼称不審問題を中心に―

川渕 紗佳

11月6日（土）

大阪大学古代中世文学研究会・寺院資料調査研究報告 合同特別例会

「知られざる古筆・断簡と寺院経蔵―瓶井山禅光寺安住院―」

【研究報告】

安住院蔵『源氏物語』断簡をめぐって

松本 大

安住院蔵『古今集』・『拾遺集』・『和漢朗詠集』・『原中最秘抄』断簡から見えてくるもの

小林 理正

安住院蔵『西行物語絵巻』について

―その本文と絵と独自異文をめぐって―

山崎 淳

安住院・善通寺等蔵『新浜木綿和歌集』断簡について

―撰者良宋の伝、熊野社・『浜木綿和歌集』との関係など―

海野 圭介

第317回 3月26日（土）

『扶桑集』における隠逸についての考察

―「山無隠」を中心に―

楊 櫓

中国の「表」の文体

―ヴァリエーションに注目して―

後藤 京

『源氏物語』の概念で接続された世界

―国冬本源氏物語句宮巻と『雲隠六帖』の関係を中心に―

越野 優子